

令和4年2月

保護者様

学級閉鎖中のMicrosoft teamsを活用したオンライン活動について

本校では、新型コロナウイルスの感染拡大により、主に学級閉鎖中の学級でMicrosoft teamsを活用したオンラインでの活動を実施します。以前に配布した「学習者用タブレット使用の約束」（本城中9月3日版 裏面再確認）を遵守し、さらに以下の内容に同意をした上で活用してください。

保護者の方におかれましては、配信される動画等における生徒・教員の個人情報（プライバシー、肖像権）保護の観点をご理解いただき、Microsoft teamsを活用していただくよう、お子様への指導をお願いいたします。

なお、これらの注意事項を守れない場合や、活動の妨げになるような行動が見られた場合には、オンラインでの活動ができなくなる恐れがありますので、ご承知おきください。

オンラインでは、先生や生徒の顔が映ることもあります。また、内容によっては、著作権が発生します。無断で転載等を行うと場合によって著作権法により処罰される場合や、肖像権侵害となり民事上の責任を問われる場合がありますので、正しく活用するようにしてください。具体的には、特に以下のことに気をつけてください。

- (1) オンラインでの活動は名古屋市から貸与されている学習用タブレットを使ってください。
- (2) 「オンラインでの活動に参加するための URL」や「個人の・ID・パスワード・クラスコード」等を絶対に他人に教えないでください。
- (3) オンラインで提供されるもの(動画、静止画、音声等)や担当教員を録画・撮影・録音する行為はしないでください。
- (4) オンラインでの活動の様子をスクリーンショットや写真や動画に撮り、それをSNSなどで共有・公開しないでください。
- (5) 先生だけではなく、一緒に参加する友達にも自分の顔やその背景(部屋の様子等)が映り、音も聞こえる場合もあるので、服装(制服・体操服)や言葉遣いには十分注意してください。
- (6) オンラインでの活動場所は、基本自宅です。活動の様子を第三者が見ることがないようにしてください。

学習者用タブレット端末 使用の約束

本城中 9月3日版

1 目的

皆さんに貸し出されている学習者用タブレットは、学習活動のために使うことが目的です。学習活動以外には使用しません。

- 自分の考えをしっかりと持ち、様々な情報を集めながら、自分の考えを深めていく学び方を身に付けましょう。
- 意見を交換したり、考えを比較し合ったりして、なかまと一緒に学ぶ姿勢を身に付けましょう。

学習者にとって鉛筆やノートと同じく、これからの学習にとって必要な道具です。使い方を間違えると、危険なものになる可能性もあります。目的をよく考え、ルールをよく守って安心・安全・快適に使いましょう。

2 使用の仕方

- 丁寧に大切に扱う。

タブレットは精密機械です。衝撃を与えたり、濡らしたり、破損する危険があるような扱いはしないようにしましょう。持ち帰る際、登下校中はかばんから出さないようにしましょう。また、不必要なカスタマイズ（勝手にアプリや動画を保存する、削除する、設定を変更するなど）をしてはいけません。不具合の原因になり、学習に支障をきたします。

学校や家庭でタブレットを使っているときに、万が一破損した時などは、すみやかに先生に申し出ましょう。

- 使用時間と場所を守って使用する。学校では、先生の指示の通りに使用する。

原則、学習活動を行っている時間と場所に限り、使用することができます。授業中であっても、先生に指示された通りに使用しましょう。

使用時間を守らないと、充電がなくなったり、授業中に指示されていない活動をしていると、周りの人の妨げや、本来の学習に取り組めなかったりと学習に支障をきたします。

- 個人情報保護やインターネットマナーを意識し、安全に使う。

学習者用タブレットでは、画像や動画は指示された時以外は撮影しません。また、学習者用タブレットで、SNS（Twitter、インスタグラム、LINE等）を利用することはできません。

他人のタブレットやパスワードを使用しないことは当然ですが、保存してある他人のデータを操作してはいけません。

学習者用タブレットは、不適切なサイトへのアクセスを制限するフィルタリングなどがかけられていますが、学習に不必要なサイトへのアクセスはやめましょう。

自分や他の人の個人情報をインターネット上に公開してはいけません。他人がいやな思いをしたり、傷ついたりすることは、書き込んではいけません。

3 使用の制限について

タブレットの使用に関して問題があった場合は、タブレットの使用を制限する場合があります。

- ◎ 閲覧したURLや操作の履歴は、記録されます。
- ◎ 健康のため、時間を決めて使用しましょう。（目と画面を30cm以上離す、30分ごとに20秒以上遠くを見る。等）